

心をひとつに、手話&ヒップホップで大舞台へ！



鳥取県立米子東高等学校の硬式野球部が
第91回選抜高等学校野球大会の出場校に選出され、
古豪復活と地元をにぎわせている。

一方、新たな伝説への兆しもある。

手話パフォーマンス甲子園など2つの大きな大会で
新たな一步を踏み出した彼らの活躍と舞台裏を紹介する。

文武両道の米子東高 ダンス部が全国デビュー！

米子市勝田町の丘の上、秀峰大山を望む米子東高校。明治32（1899）年、鳥取県第二中学校として創立し、来年度120周年を迎える。校訓は「質実剛健」。科学的探究心や情報発信力、実践力の育成などをめざす「スーパーサイエンスハイスクール事業」を実施するなど特色ある教育に取り組み、約1000人の生徒が進路実現に向けて勉学に励む。

片や校風に「文武両道」を掲げ、部活動を奨励。この春、硬式野球部が春の運動を奨励。この春、硬式野球部が春の

甲子園出場校に選ばれた。8回目の選抜から23年ぶりとなる快挙に、学校や県民はもちろん、全国の卒業生たちも期待を寄せる。

一方で、同校から突如として全国の舞台へと飛躍した部がある。ダンス部だ。10年ほど前に同好会として発足し、数年の活動を経て部に昇格。「米子がいな祭」や地域イベント、学校の文化祭などでダンスを披露してきた。昨年、新たに挑んだ二つの大会で、初参加ながら全国の大舞台で踊った。



苦労を承知で大会に挑戦 全員でつくる達成感が醍醐味

ダンス部で、一生の思い出づくりを！

ダンス部があまりに楽しそうで、2年生で転入部しました。この部に入って本当に良かった！毎日部活の時間が待ち遠しいほどです。

ダンスに不健全なイメージを持つ人もいるかもしれません、そんなことはありません。私はダンスの技術以上に多くの経験や自信を得たし、何より楽しい一生の思い出ができる、最高の部活動です！



▶ダンス部顧問 堀江 駿 先生

自主的に考え、行動していく部員たちに「全国をめざせば試練もあると思うが、結束して立ち向かい、多くの学び、気づきを得てほしい」とエールを送る

「何もかもが初めてで、手探り状態でした」と振り返るのは、昨年4月が催された全国大会では、同部門6チーム中6位に終わった。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り付けをゼロから考え、完成させて全

手話パフォーマンスで大健闘 ダンス部に新たな魅力が誕生

2、3年生が「ダンスドリル」に向かい始めたころ、新入部員はダンス部初となる「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」への挑戦を決めた。リーダーを務めたのは、春に転入部した2年生の樋口一葉さん。「参考を承知の上で、下級生に全国大会へ取り組むきっかけをつくりたかったのだと思います」と話す。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出ないときもある。ミーティングで発言しにくい部員にあとで個人的に意見を尋ねたり、紙に書いてもらったりするなど、玉井さんはできる限り思いを汲み取り、チームをまとめて決法を考えてみんなで乗り越えられた経験は大きい。きっと今後に生きると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティングで発

言しにくい部員にあとで個人的に意

見を尋ねたり、紙に書いてもらつた

りするなど、玉井さんはできる限り

思いを汲み取り、チームをまとめて

決法を考えてみんなで乗り越えられ

た経験は大きい。きっと今後に生き

ると思います」と胸を張る。

玉井さんは「やり終えて、とても楽しめた」と抱負を語る。

「ダンスの醍醐味は、演技を創り上げるところにある」というのが玉井

さんの考え方だ。テーマや曲選び、振り

付けをゼロから考え、完成させて全

員で踊る。「この達成感はほかでは味わえません」

大勢の部員が、一つの作品をともに築くのは容易ではない。主張のぶつかり合いがあれば意見が全く出

ないときもある。ミーティング